

みんなでスポーツを!

題字(財)福島県体育協会長 佐藤栄佑久

第8号

SPORTS FUKUSHIMA

第7回全国
アウトドアスポーツフェア



「パラグライダー」



「クライミング」



「フライングディスク」

よさこい高知国体

カヌー少年男子
カヤックシングル 200m, 500m
優勝 佐藤滋選手



夏季国体を振り返って



財団法人福島県体育協会
副会長 猪俣 昭洲

第57回国民体育大会夏季大会は、9月20日から24日までの5日間にわたって、南国土佐・高知県を会場に10競技において熱戦が展開されました。今回は、夏季の競技である水泳、ボート、セーリング、カヌー、ボウリング、ゴルフの6競技に、今年からサッカーが加わり、また、高知県の宿泊事情等により、テニス、弓道、ライフル射撃が夏季開催となりました。福島県選手団は164名を数え、延べ31種目で入賞を果たすことができ、選手団団長として、あらためて各競技団体の監督、選手の皆様に感謝申し上げます。

カヌー競技少年男子カヤックシングル500m、200mの2種目で優勝した佐藤滋選手の活躍は見事なものでありました。ジュニア世界選手権出場という高い目標に向かって練習を重ねてきたこと、また、肩の痛みを押してのレースであったことを聞き、その強い精神力にトップアスリートとしての高い素養を感じました。

ボウリング競技においては、成年女子個人戦で鈴木英子選手が2位入賞を果たしました。予選を8位で通過し、決勝で挽回しての準優勝です。安定した投球と勝負所での集中力は、日々積み重ねてきた練習の賜でありましょう。種別に関係なく一丸となって応援を続けたボウリング連盟の皆さんの姿が印象的でした。

ボート競技少年女子シングルスカルでは、福地愛選手が会心のレースで2位と健闘しました。福地選手は中学時代からの継続的な指導が実ったということでもあります。また、創部1年目の田村高校少年男子チームが入賞を果たすなど、

ボート協会全体の喜びが伝わってきました。

成年男子飛板飛込で3位に入賞した西川友章選手は、難易度の高い技を次々と成功させ観客を魅了していました。毎年入賞を果す高い技術力と、失敗が許されないプレッシャーの中での集中力には敬服するばかりです。

まだまだ多くの競技での活躍があり、伝えたい感動がありますが、それぞれの競技にドラマがあり、成功と失敗がありました。入賞を果たせなかった競技においても、全力を出し切ったの真剣なプレーには、大きな充実感を見て取ることができました。そして、なによりも素晴らしいのは、選手の皆さんの戦う姿勢です。普段はどの選手も学校や職場に所属し、個人や所属する団体のために競技しています。しかし、国体は、誰もが福島県という所属のもとに戦ってくれました。県を代表する者として競技し、競技団体としてのまとまりを持って応援する姿に、強い力を感じることができました。

全国のベスト8に入ることは、並大抵のことではないでしょう。勝者はなぜ強いのか。敗者はなぜ敗れたのか。今大会で得た教訓を生かし、全国大会の上位で活躍できる、さらに強い選手が育って来てくれることを期待します。高い目標を持ち、計画的な練習を積み重ねることや、底辺の拡大とジュニアからの継続的な指導を行っていくことなど、多くの課題を克服し、本県スポーツがますます発展することを願ってやみません。

目次	
1 全国アウトドアスポーツフェア 国体カヌー競技優勝の瞬間	12 スポーツフェスタ2002 ニュースポーツ種目の紹介「木球」
2 「夏季国体を振り返って」 目次	13 生涯スポーツ実践者紹介 体育施設とスポーツ教室の紹介
3 第57回国民体育大会夏季大会成績	14 みんなでつくろう総合型！ 「ひのきスポーツクラブ」
5 第29回東北総合体育大会競技別総合順位一覧	15 スポーツと健康 INFORMATION
6 寄稿特集	16 福島県県民スポーツ協会の会員紹介 編集後記
8 第7回全国アウトドアスポーツフェアinふくしま	
10 県スポーツ指導者協議会	

表紙・国民体育大会成績・寄稿の写真については、福島民友新聞社の提供によるものです。

第57回国民体育大会夏季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加 競技数	派遣人数			合計
						役員	監督等	選手	
夏季大会		平成14年9月20日(金) ~9月24日(火)	高知県高知市他	猪俣 昭洲	10	19	27 (24)	118	164 (24)

()は競技団体派遣者数で外数

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加点	得点合計	順位	競技得点	参加点	得点合計	順位
冬季大会		10.0点	30点	40.0点	26位	3.0点	20点	23.0点	23位
夏季大会		119.5点	100点	219.5点	29位	61.5点	100点	161.5点	23位
合計		129.5点	130点	259.5点	32位	64.5点	120点	184.5点	27位

3 入賞者一覧(夏季大会)

水泳競技	競技得点	順位	得点	選手名	所属
成年男子	30歳以上 50m背泳ぎ	8	1	末 永 敏 則	福島県信用保証協会
	飛板飛込	3	6	西 川 友 章	清陵情報高校教員
少年男子	A200m背泳ぎ	7	2	山 口 雅 文	会津工業高校3年
	高飛込	7	2	佐 藤 由 彬	東日本国際大学附属昌平高校2年
	B100m自由形	7	2	蛭 田 尚 宏	湯本第一中学校3年
成少男子	混合リレー	8	1	福島県 菊 地 隆 一 郎 中 澤 謙 昭 斎 藤 昭 宏 蛭 田 尚 宏	東海大学2年 福島県立会津大学教員 日大東北高校3年 湯本第一中学校3年
少年女子	A100m背泳ぎ	6	3	安 斎 明 美	尚志高校通信制3年
	A100m自由形	8	1	原 田 文 子	日大東北高校2年

ボート競技	競技得点	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ダブルスカル	8	-	会津選抜 真 部 宏 伊 杉 本 剛 志	東北電力(株)福島支店 西会津高校教員 種別の総合で得点が出るため得点なし。
少年男子	ダブルスカル	6	-	田村高校 渡 辺 勝 裕 木 村 聡	田村高校3年 田村高校3年 種別の総合で得点が出るため得点なし。
少年女子	シングルスカル	2	-	福 地 愛	喜多方商業高校3年 種別の総合で得点が出るため。
	種別総合	7	10		



飛板飛込成年男子第3位 西川選手



ボート少年女子シングルスカル第2位 福地選手

第29回東北総合体育大会 競技別総合順位一覧

於：山形県 2002.8.26

セーリング競技	競技得点0.0点	22位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	国体ウインドサーフィン級		5	-	飯原 崇仁	緑川総合保険 種別の総合で得点が出るため得点なし。

カヌー競技	競技得点44.0点	7位	順位	得点	選手名	所属
成年女子	ワイルドウォーター1500m		6	3	和田 藍加	大教イトマンスイミング二本松
	レーシング・カヤックシングル500m		7	2	嶋原 恵子	筑波大学3年
	レーシング・カヤックシングル200m		6	3	嶋原 恵子	筑波大学3年
	スラローム15ゲート		8	1	及川 智美	船引中学校教員
少年男子	レーシング・カヤックシングル500m		1	8	佐藤 滋	二本松工業高校3年
	レーシング・カヤックシングル200m		1	8	佐藤 滋	二本松工業高校3年
	レーシング・カナディアンペア500m		7	2	菅野 俊	安達高校3年
少年女子	レーシング・カヤックシングル500m		5	4	阿部 公貴	安達高校3年
	レーシング・カヤックシングル200m		5	4	大内 百合子	安達高校3年
	レーシング・カヤックペア500m		4	5	梅原 愛里	安達高校3年
	レーシング・カヤックペア200m		5	4	和田 貴代	安達高校2年
		梅原 愛里			安達高校3年	

ボウリング競技	競技得点16.5点	14位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	年齢別個人戦	ハイミドルの部	6	3	中田 明	福浜工業(株)
		マスターズの部	7	2	浅野 敏栄	(株)アサヒボウリングサービス
成年女子	年齢別個人戦	ミドルの部	2位	6.5	鈴木 英子	トキコ(株)
少年男子	個人戦		7	2	遠藤 純	郡山高校1年
	団体戦		6	3	遠藤 純	郡山高校1年
					大塚 正	会津工業高校3年

テニス競技	競技得点30.0点	7位	順位	得点	選手名	所属
成年男子			6	15	竹下 和史	須賀川セントラル眼科
					本村 浩二	須賀川セントラル眼科
成年女子			6	15	高橋 徹	福島県商工信用組合
					田口 景子	大東銀行
					加藤 沙絵	大東銀行
					西内 香名	大東銀行

ライフル射撃競技	競技得点1.0点	40位	順位	得点	選手名	所属
少年男子	10mS60MJ		8	1	川名 正紀	日大東北高校3年



カヌー成年女子ワイルドウォーター1500m第6位 和田選手



ボウリング成年女子個人戦ミドルの部第2位 鈴木選手

順位	競技名	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		県名	得点	県名	得点	県名	得点	県名	得点	県名	得点	県名	得点
1	水泳	宮城県	12	山形県	10	岩手県	7	福島県	5	青森県	4	秋田県	3
2	ボート	宮城県	42	福島県	35	岩手県	28	秋田県	22	青森県	13.5	山形県	12.5
3	カヌー	福島県	67	宮城県	66	山形県	48	秋田県	30	岩手県	26	青森県	16
4	ボウリング	宮城県	98	福島県	88	山形県	82	青森県	72	岩手県	70	秋田県	58
5	ゴルフ	宮城県	12	青森県	7			福島県	6	秋田県	5	岩手県	4
6	陸上	宮城県	358.5	福島県	269	山形県	238.33	秋田県	236.33	岩手県	208.5	青森県	155.33
7	サッカー	宮城県	21	福島県	17	岩手県	15.5			青森県	12		
8	テニス	福島県	37	岩手県	27	宮城県	26	秋田県	21	山形県	19	青森県	15
9	ホッケー	岩手県	22			宮城県	14	福島県	12	青森県	8	秋田県	6
10	ボクシング	福島県	56	宮城県	45	秋田県	34	山形県	31	岩手県	30	青森県	18
11	バレーボール	宮城県	29.5			福島県	25.5	岩手県	20	秋田県	14.5		13
12	体操競技・新体操	宮城県	155	青森県	130	山形県	110	福島県	95	岩手県	90	秋田県	50
13	バスケットボール	秋田県	22.5	山形県	20.5	福島県	15.5	宮城県	13.5	青森県	8		
14	レスリング	山形県	102	青森県	94.5	秋田県	73.5	岩手県	72.5	宮城県	55		
15	ウエイトリフティング	秋田県	86	福島県	68	岩手県	58	宮城県	55	山形県	51	青森県	47
16	ハンドボール	岩手県	20	宮城県	14	福島県	9	青森県	7	秋田県	7	山形県	6
17	自転車	岩手県	157	福島県	155	宮城県	130	青森県	124	秋田県	111	山形県	75
18	ソフトテニス	宮城県	20	福島県	19	青森県	14	岩手県	12	山形県	10	秋田県	9
19	卓球	青森県	23	宮城県	19	福島県	13	岩手県	11			秋田県	7
20	軟式野球	福島県	17	宮城県	15.5	岩手県	10	青森県	8.5			山形県	6.5
21	相撲	青森県	21	秋田県	15	岩手県	11.5	宮城県	7	山形県	6.5	福島県	5
22	馬術	宮城県	107	福島県	95	青森県	85	岩手県	56	秋田県	31	山形県	29
23	フェンシング	山形県	90	宮城県	71	秋田県	53	福島県	40	青森県	28	岩手県	12
24	柔道	青森県	22	秋田県	16			岩手県	14	宮城県	13	福島県	7
25	ソフトボール	宮城県	22.5	福島県	20.5	岩手県	13.5			青森県	10	秋田県	8
26	バドミントン	宮城県	44.5	青森県	35.75	秋田県	26	福島県	24.75	岩手県	21.75	山形県	19.25
27	弓道	福島県	16	青森県	15.5	宮城県	15	岩手県	14.5	秋田県	14.5	山形県	8.5
28	ライフル射撃	宮城県	85	山形県	69	岩手県	51	福島県	49	秋田県	47	青森県	31
29	剣道	宮城県	20.5	秋田県	20.5	福島県	17	山形県	13	青森県	11	岩手県	6
30	ラグビーフットボール	岩手県	8.5	青森県	7.5			山形県	7			秋田県	6.5
31	山岳	宮城県	90	岩手県	85	福島県	80	秋田県	70	山形県	60	青森県	30
32	アーチェリー	青森県	23	宮城県	18	山形県	17	秋田県	11	福島県	10	岩手県	8
33	空手道	宮城県	113.5	山形県	72	青森県	46	福島県	44.5	秋田県	34	岩手県	12
34	銃剣道	福島県	14	青森県	8			宮城県	7	岩手県	3		
35	クレー射撃	宮城県	14	山形県	8	秋田県	8	岩手県	8	福島県	3	青森県	3
36	なぎなた	宮城県	21	福島県	20	岩手県	16	秋田県	14	山形県	13	青森県	4
37	ゲートボール	青森県	12	山形県	12	秋田県	8	福島県	6	岩手県	3	宮城県	3
38	アイスホッケー	成年	平成14年12月7日~8日	少年	平成14年11月30日~12月1日								

寄

特集

稿



ボート競技 田村高校教諭

野中敏光

「大きな第一歩」

平成14年9月24日高知国体最終日、ボート競技5～8位の順位決定戦が行われました。田村高校ダブルスカルは、鳥取県選抜チームと最後までトップ争いを繰りひろげ、微差で破れて2着となり6位が確定しました。今まで経験したことのない川の流れと引き潮の悪条件を克服できたのは、試合経験がたった1年しかない田村高校チームとしては素晴らしいことでした。平成13年5月、田村高校ボート部は愛好会として発足し、学校から6Kmのところにある三春ダムのさくら湖で活動を開始しました。部員は男子3名、女子2名でスタートしましたが、当初は練習に使うボートがなかったため、湖面に出ることができず、ランニングやエルゴメータによる体力トレーニングをやるしかありませんでした。6月中旬になって、やっと荻野漕艇場から古いダブルスカルとシングルスカルを借りることができ、念願の水上練習がスタートしました。他の学校から東北大会やインターハイに駒を進めていくのを横目で見ながら、秋の新人戦デビューを目指しました。生徒たちの手は豆だらけであり、手足は真っ黒になりました。当初から目標を全国上位にしていたので、練習内容はかなり厳しいものがありましたが、生徒たちは良くついてきてくれました。秋の新人戦では、男子ダブルスカルが優勝、シングルスカルが2位、女子ダブルスカルが2位と上々のスタートを切

りました。その後、ダブルスカルが東北大会で優勝し、3月の全国選抜大会への出場を果たしました。平成14年になって愛好会はボート部に昇格し、1年生4名を加えてインターハイを目指しました。6月県高校総体では、男子ダブルスカル、シングルスカルが優勝、女子クオドルプルも優勝し、ボート競技6種目のうち半分の3種目を部員全員で勝ち取りました。茨城インターハイでは男子ダブルスカルが6位、シングルスカルと女子クオドルプルは準決勝まで進出できました。

ここまでこれたのは、先生方の温かい声援とボート施設をお借りしている三春町の協力、そして保護者の皆様のバックアップのおかげであると思っています。この場をお借りして御礼申し上げます。

本職が理科の教師である私が指導上いつも心がけていることをいくつか挙げてみます。練習は計画的であることが求められています。4月当初に全ての学校行事、大会日程を考慮して、トレーニング年間計画を立てます。この計画の中で特に気をつかうのは、生徒の学習時間を保証することです。定期考査や模試の日程は計画に織り込み済みですから生徒は安心してボートに打ち込めます。トレーニングの成果がいつもわかるように、データを整理し、生徒たちがいつでも確認できるようにしておくことも大切です。また、生徒たちに練習の意義(生化学的な内容も含む)を理解させ、意欲を持って練習に取り組ませています。さらに学校生活での悩みや恋の悩みにいたるまで、相談できる頼れる監督でありたいといつも心がけて生徒の指導に当たっています。私自身ボート競技の選手経験がありませんので、細かいところまで手取り足取りの指導はできませんが、生徒たちが考えてボートに取り組んでいるのが良い結果を生んでいるような気がします。

今年の「大きな第一歩」を土台としてさらに飛躍し、全国大会で「ボートの田村」と言われるようなすばらしいボート部にしていきたいと考えています。



第57回国民体育大会ボート競技少年男子ダブルスカルで第6位入賞した田村高校 木村 聡選手(左) 渡辺勝裕選手(右)



カヌー競技 二本松工業高等学校 3年

佐藤 滋

「オリンピックを目指して」

高校生活もあと少しで終わろうとしています。僕の高校生活は、カヌー競技に専念できた3年間であったと思います。高校1年からカヌーを始め、最初は艇に乗るのも困難でした。大会に出ても、バランスがとれずに水に落ちてしまい、失格になってばかりいました。そんな僕が、インターハイ、ジュニアオリンピックカップ、国民体育大会で優勝するまでに成長することができました。これも指導してくださった先生や先輩方、また僕を支えてくれた友達や家族のおかげだと思っています。

しかし、ここで満足しているわけではありません。昨年ブラジルで行われた世界ジュニア選手権大会や、今年の5月にイランで行われたアジアジュニア選手権大会では、大勢の素晴らしい選手達と競技することができました。日本国内だけで満足しては、世界に通用するはずがないと感じました。僕が目指すものは、世界で通用する選手になり、オリンピックで入賞するという事です。オリンピックというと、とても大きくて、夢のまた夢のように思われるかもしれませんが、僕はそうは思いません。叶うと信じていますし、そのための努力は惜しまないつもりです。

今も、そしてこれからも、その時の自分に満足せずにカヌーを続けていきたいです。オリンピック入賞の目標が達成できたら、次は「世界一」と、常に高い目標を持って頑張っていきたいと思っています。



陸上競技砲丸投 平第二中学校 3年

吉田 いずみ

「陸上競技と私」

「普段の力を出せば優勝できる・・・」そう自分に言い聞かせて臨んだ中学2年生の時の中体連全国大会。結果は4位。優勝は神奈川の中学2年生で、私はメダルにさえ届かなかった。ちょうど広島は台風が直撃し、大会運営さえ

も危ぶまれた暴風雨の中での競技。終了後、私の心の中には、大事な場面で力を出し切れなかった自分自身の未熟さ、同学年の選手に負けた悔しさが重なり合っ、初の全中入賞もあまり喜べない思い出となってしまった。

技術・基礎体力、すべてが足りなかった。過去の全中優勝者の投てきを何度も見て研究したり、普段の練習やジュニアの強化練習会などでもらったアドバイスを「陸上ノート」に書き込み、繰り返し目を通した。先生の許可をもらって、部活動全体の朝練よりも早い6時30分から練習を開始し、昼休みも練習に利用した。「もう負けるのはいやだ。ライバルにも、自分自身にも・・・」そんな思いが私を支えていたのかもしれない。

いよいよ2度目の全中。『日本中学記録更新！そして全国制覇！！』2つの目標を掲げて、わたしは競技に挑んだ。1投目からトップに立ったが、前半は力みがあり記録は伸びなかった。優勝を手中に収めた後の最後の6投目、自己ベスト記録を更新したものの、中学記録更新まではならなかった。今思うと、最初の1・2投目からリラックスして競技すべきだったと反省している。これからの課題としたい。

中学校での陸上は、自分が興味を持ってやり始めたことだから、練習がつらいと思っことはなく、常に目標があったので、楽しんで競技を続けることができた。また、競技を通じてたくさんの友達やライバルができたことは、自分の大きな励みになっている。

今後、より高い目標を設定し、一生懸命・そして楽しみながら陸上を続けていきたいと思う。これまで私を支えてくれたお父さん、お母さん、どうもありがとう。そしてこれからもよろしくお願ひします。応援して下さい皆さん、ありがとうございました。



H14全国中学校体育大会 陸上競技女子砲丸投で優勝した吉田いずみ選手

第7回全国アウトドアスポーツフェアinふくしま

スポーツニーズが多様化する中、豊かな福島を背景に「全国アウトドアスポーツフェア」を開催し、「自然から学び、自然とともに生きる」との観点から、各種ムーブメントを展開することにより、アウトドアスポーツの一層の普及・振興を図っています。

8月3日(土)・4日(日) あづま総合運動公園を会場に、ミニ体験教室と白井貴子のトーク・ミニコンサートのメインフェスタが開催され、3,300名がアウトドアスポーツを満喫しました。



【メインフェスタゲート】

【開会式】

晴天の下、佐藤知事出席のもと行われました。



【アトラクション】
霊山太鼓の迫力満点の演奏



【トーク&ミニコンサート】
シンガーソングライター白井貴子さんのトークと歌に500名が酔いしれました。



【RV車の展示】



【フライングディスク】
親子で和やかに励ましあって楽しみました。



【パラグライダー】

天候・風もよく良い条件の中、目的の10秒以内高さ2~3mのフライトを体験していただきました。最年少4歳。最高齢75歳。



【木球】
講習実施後、各組でゲームを体験しました。



【マウンテンバイク】
アップダウンもなんのその。



【ウォークラリー】
暑くても全員が完歩しました。



【ネイチャーゲーム】
自然との触れ合いを楽しみました。



【ターゲットバードゴルフ】
初心者もナイスショット。



【アウトドアクッキング】
魚さばきに挑戦しました。



【魚つかみ】
大人も子供も大はしゃぎでした。

【クライミング】
登る喜びを体験しました。

上記のほかに、ストラックアウト、フィールドアスレチックの体験教室も実施されました。下記市町村でも同イベントが開催されています。参加してみてもいいですか。

市町村名	教室名	会場	期日	内容
郡山市	つるりんこ祭り	県郡山スケート場	平成15年2月11日	氷上綱引き大会・カーリング大会
熱塩加納村	米・カップパラグライダー大会	三の倉高原	平成14年10月12・13日	パラグライダー体験教室・競技
南郷村	スノーボードキャンプin南郷	南郷スキー場	平成15年1月24・25日予定	スノーボード体験教室・競技
只見町	レットレッキング「只見地球元気村」	只見青少年旅行村	平成14年10月19・20日	蒲生岳登山・キャンプ
相馬市	松川浦釣り大会	松川浦全域	平成14年10月13日	釣り大会
相馬市	ふるさと探訪・探求	宮城県蔵王	平成14年11月30日	自然散策・バードウォッチング
桧枝岐村	親子雪遊び体験	桧枝岐温泉スキー場	平成14年8月3・4日	雪上運動会・花火大会・尻すべりジャンプ大会

< 福島県スポーツ指導者協議会 >

ワールドカップへの道

福島県スポーツ指導者協議会 会長 本田俊教



私のサッカーの授業に出てくるベッカムヘアの学生も僅か一人になってきた。6月のワールドカップ6試合の観戦は、私にとって、イタリア、フランスに次いで3回目の観戦であった。

世界のサッカーは、4年に一度のワールドカップを指標として進展している。そしてワールドカップの成功、不成功はその国の少年プレイヤーの育て方の出来、不出来を反映している。フランス大会ではフランスの初優勝に終わったが、これには過去30年の準備があったと言われている。

以下、ユース養成と指導者養成(含、指導者の継続教育)を怠ったスポーツは衰退するという信念を持つドイツが、2006年のワールドカップに向けてプロジェクトをスタートさせた(UEFA技術委員ゲロ・ビザンツ)のでそれを紹介します。

ドイツサッカーの危機

「ユース年代の育成がうまくいっていない」

「ドイツのサッカーのやり方がもう古い」

原因の分析

若いプレイヤーの早期からの経験の機会の減少

青少年のフリータイムの過ごし方の変化

サッカーに費やす時間が減る

ストリートサッカーの消滅

プロ・クラブにおいてユース育成に対する関心が

薄い

*ブンデスリーガの1部、2部に安易に外国の中程度の選手が増えた

このような問題意識と原因分析の結果次のようなプログラムをスタートさせた。

1 ユースタレント育成の拡大

ワールドカップ時に22歳~24歳になる年齢層のプレイヤーに、所属するそれぞれのクラブの練習の他に、もっと喜びを持ってサッカーに情熱を注げるようにすることです。

それには、いかに質の高いトレーニングを提供し彼らの喜びを高めるかです。喜びを持ってプレーしている間は、非常に質が上がり、そこからよりクリエイティブなプレーが出来ます。

他の一つは個人の能力を伸ばすことです。(クラブのトレーニングは勝敗にこだわりやすい)

2 タレントの発掘・育成

既存のクラブを補うために全国に121箇所のトレーニング拠点を設けた。それに2人のコーチ計242人を張りつけ協会の育成マニュアルに添った指導をさせる。

13歳 = 5人、14歳 = 5人、計10人を1グループ、15歳 = 5人、16歳 = 5人、17歳 = 5人計15人を1グループとし

て別々に指導する。施設は、芝のピッチ1面、屋内トレーニング場、講義室を持つこと。

3 プロのクラブでのユースパフォーマンスセンターの設置義務

ブンデスリーガ1部、2部の全クラブに、2001年の終わりまでに育成センターである上記センターの設置を義務づける。長期にわたってユースを育成し将来の代表の候補や予備軍となる。

施設は、1つが芝でピッチ2面1面は照明付き、体育館、3人のプロコーチ(内2人はトップのコーチ、GKコーチ(パートでもよい)、医務室(必要な時ドクターが来られる)、マッサージルーム、サウナ、浴室、理学療法士はプロで常駐、勉強や社会的部分をケアする人もいなければなりません。

4 元代表プレイヤーを対象とした指導者養成講習会

代表として40試合以上、ブンデスリーガのプロとして400試合以上、ヨーロッパ選手権かワールドカップで1回は優勝していることを条件に短縮した特別養成コースを設けた。その結果1990年イタリア大会優勝チームの半数が参加した。超一流選手のポテンシャルは既に生かされており、何人かはアシスタントコーチとして活動している。

この講習のもう一つの目的として、彼らが母体となって財団をつくった。彼らの豊富な経験を、国のサッカー、ヨーロッパ全体のサッカー、あるいは国際的なサッカーに貢献していこうということです。

社会・文化の発展のための貢献・投資をしようというグループの支援を受けたこの財団は、ここからホームページを通じて、サッカーの直接的な内容だけでなく、社会学、教育学、スポーツ医学等様々テーマが流れます。

ワールドカップに向け、ユーストレーニング、アマチュア、プロサッカーにいたるあらゆる認識、情報を科学的に研究し体系付け、興味を持つ人々に提供し、ワールドカップへ向けての長期的な準備につなげたいと考えています。



サッカー、ナショナルトレセン伝達講習会県サッカー協会 H14.4.20

平成14年度後半のスポーツ指導者研修会開催のお知らせ

本年度後半の公認スポーツ指導者研修会が下記のとおり行われます。「登録更新に伴う研修の履行」に基づく研修(義務研修)として位置づけられています。当該地域以外の指導者も受講できますので、ぜひ受講されますようお知らせします。

第2回福島県スポーツ指導者研修会 都道府県スポーツ指導者研修会(相双ブロック研修会)

期日 12月1日(日)

会場 原町市「サンライフ原町」

内容 基調講演「総合型地域スポーツクラブと指導者のかかわり」

日本大学教授 本田俊教

講義・スポーツ医事相談

「中・高齢者のスポーツ活動における留意点」

(財)日本体育協会公認スポーツドクター 中瀬猛

講演「スポーツ実施者を助ける手段について」

日本体育大学名誉教授 阿部和雄

スポーツ指導者への情報提供および研究協議

第3回福島県スポーツ指導者研修会 都道府県スポーツ指導者研修会(県北ブロック研修会)

期日 2月2日(日)

会場 伊達町「伊達町福祉センター」

内容 基調講演「総合型地域スポーツクラブと指導者のかかわり」

日本大学教授 本田俊教

講義・スポーツ医事相談

「中・高齢者のスポーツ活動における留意点」

(財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー 鬼澤武則

講演「スポーツ実施者を助ける手段について」

日本体育大学名誉教授 阿部和雄

スポーツ指導者への情報提供および研究協議

あなたも公認スポーツ指導者を目指しませんか!

財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度とは…。

(財)日本体育協会は、加盟団体とともに、国の基準に基づく指導者養成事業(文部科学大臣認定「社会体育指導者の知識・技能審査事業」)を実施しており、現在、全国で8万名を超える有資格指導者が養成されています。

指導者の種類		指導者の役割
地域スポーツ指導者	(C級/B級/A級スポーツ指導員)	地域住民を対象として指導を行う競技別指導者。
競技力向上指導者	(C級/B級/A級コーチ)	競技選手の競技力向上を図るための競技別指導者。
商業スポーツ施設における指導者	(C級/B級/A級教師)	商業スポーツ施設において職業として指導を行う競技別指導者。
アスレティックトレーナー		スポーツドクター、コーチとの連携、協力のもと競技選手の健康管理、スポーツ外傷の応急処置、アスレティックリハビリテーション、コンディショニング等にあたる者。
スポーツプログラマー	スポーツプログラマー フィットネストレーナー	運動、スポーツをこれから実施しようとする者に対しスポーツの相談、スポーツプログラムの提供等を行う指導者。青少年を対象に適切なスポーツ活動の相談および助言活動とスポーツプログラムの提供等を行う指導者。
少年スポーツ指導者	少年スポーツ指導者 少年スポーツ上級指導員	青少年を対象に適切なスポーツ活動の相談および助言指導とスポーツプログラムの提供等を行う指導者。
スポーツドクター		スポーツ活動を行う人に対する健康管理と競技力向上の援助、スポーツ外傷・傷害に対する予防、診断、治療、リハビリテーションなどを行う医師。

資格取得後は、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員として登録され(4年ごとに更新)、社会的認知を得た指導者として活動ができるとともに、毎月発行される「指導者のためのスポーツジャーナル」によって最新のスポーツ情報が得られます。

詳しいことのお問い合わせは・・・ 福島県体育協会 生涯スポーツ係 TEL 024-521-7896

第7回全国アウトドアスポーツフェアinふくしま
(財)福島県スポーツ振興基金助成事業

ふくしまスポーツフェスタ2002

(兼 第22回福島県レクリエーション大会)

本大会は、広く県民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、県民のスポーツ・レクリエーション活動を一層促進し、健康で明るく潤いのある県民生活の実現に資することを目的として、相馬市・原町市・新地町・鹿島町・浪江町・大熊町を会場に開催されました。9月29日(日)のメイン日には、ニュースポーツやレクリエーションなど20競技が行われ、秋晴れのしたお年寄りから子供まで心地よい汗を流しました。



(350名が参加した3B体操)



(ソフトバレーボール)



(和やかな雰囲気でのレクリエーションダンス)



(パークゴルフ)

ニュースポーツ種目の紹介

「木球(ウッドボール)」

福島県木球協会
理事長 新谷 崇一

木球は約10年前、台湾の翁明輝氏が誰でも、いつでも、どこでもできるスポーツをということで考案したものです。今ではアジア各地からヨーロッパまで普及し、各国で国際大会が開催されています。

木球はゴルフをコンパクトにしたもので、ルール、技術、ゲームの進め方、コース等はゴルフに似ています。用具は写真にあるように、ボールを打つマレット、ソフトボール位の木のボール、そしてゴールとなるゲートの3点です。



コースは35m以下のショート、36~65mまでのミドル、66~100mまでのロングの計12フェアウェイがあり、全長で500m位とされています。

ルールは簡単で、スタート地点からゴールまでの打数を数え、12フェアウェイのトータルで勝敗を決めます。ボールがコースから外れたり、池に入ったりした場合はペナルティーとして1打加算されます。打法は基本的には自由ですが、ゴルフのスイングをイメージして下さい。

このように誰にでも取り組みやすいスポーツですが、起伏に富んだコースや障害物を設けることにより、難易度、競技性、娯楽性も倍増する奥の深いスポーツです。用具を持参していつでも講習会を開催します。一度体験してみてください。

問合せ先は 福島大学・新谷研究室
TEL 024 - 548 - 8280



木球用具

生涯スポーツ実践者の紹介

『スポーツと私』

増子 恵美



13年前、交通事故で脊髄を損傷し下半身麻痺となり生涯車椅子の生活を余儀なくされました。家族や多くの方に支えられ、自分の本質は変わらないことを自覚することができ、当時としては比較的早い時期に障害を受け入れることができたように思います。

その後、車椅子バスケットボールとの出会いがあり、生きがいを持ち身辺自立、社会復帰するための大きな転機となりました。

幼少の頃より続けてきたバスケットボールで培った、最後まで諦めずに日ごろの努力を積み重ねることで目標に到達する達成感を体験していたことにより、障害を持ってもくじけることなく、機能回復訓練に水泳などのスポーツを取り入れて少しでも障害を軽くしたいと日々努力しました。

また、現在は障害があっても様々なスポーツにチャレンジすることができますので、生涯をとおしてスポーツをすることができる時代になってきつつあります。いまは車椅子バスケットボールですが、今後は、私ももっといろいろなスポーツを体験したいと思います。

さて、私が現在競技している車椅子バスケットボールは、コートの高さ・リングの高さ・ボールの大きさはすべて一般のバスケットボールと一緒です。ただし、障害のある人のためにいくつかのルールに特徴があり

ます。最近では、車椅子バスケットボールを障害のない人も一緒に楽しんでいます。これは、スポーツの特性を生かした大きな成果だと思います。障害のあるなしに関わらず一緒にスポーツを楽しむことで、共に「学び、楽しみ、生きる」ことが実感できる素晴らしいことだと思います。車椅子バスケットボールはみなさんが思っている以上に年齢を重ねても競技できるスポーツです。激しい競技ではありませんが、国内では60歳近くまで競技を続けている選手もいます。

~車椅子バスケットボール豆知識~

車椅子バスケットボールはダブルドリブルがありません。ボールを保持した後も何度でもドリブルができます。各選手には障害の程度により持点というものが決められており、コート内でプレイする5人の点数が合計14.0点を超えてはいけません。これは、障害の軽重によりチームのバランスをとるものです

級別	クラス1	クラス2	クラス3	クラス4
持点	1~1.5	2~2.5	3~3.5	4~4.5

最近では学校を訪問し子供達と車椅子バスケットボールをとおして交流を深めています。これを見たみなさんのなかで興味を持った方は、一緒に車椅子バスケットボールを楽しみましょう。



体育施設とスポーツ教室の紹介

自然を体感!標高850メートルのステージで思いっきり躍動!

スポーツパーク 桧原湖

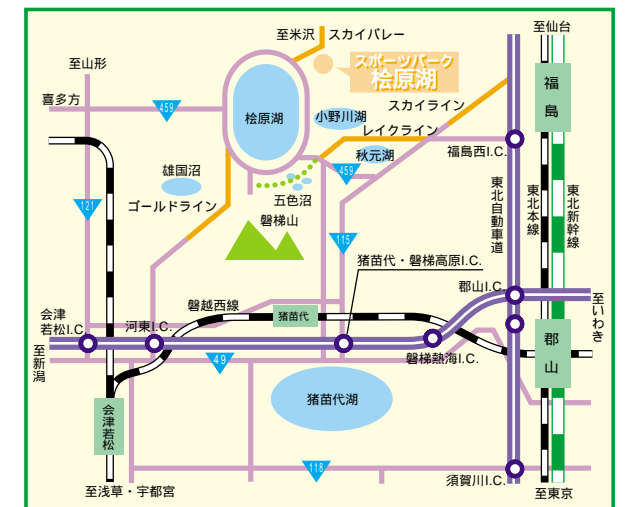
この施設は、標高850メートルの高原地帯にあり、トレーニングに適した気象・地質であることから日本陸上競技連盟を始めとする陸上競技選手から注目されています。施設は早稲沢温泉地区内にあり、民宿やペンションなど宿泊施設を利用し、全国でも有名な高校・実業団等が合宿で活用しています。



クロスカントリーコース

【施設概要】

全天候型400メートルトラック2コース
クロスカントリーコース 1km(チップ、幅員3m)
3kmコース(H15供用開始)
トイレ、更衣室、駐車場
ロードコース桧原湖1周32km



連絡先 スポーツパーク桧原湖管理組合
福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字早稲沢
TEL・FAX 0241-34-2500

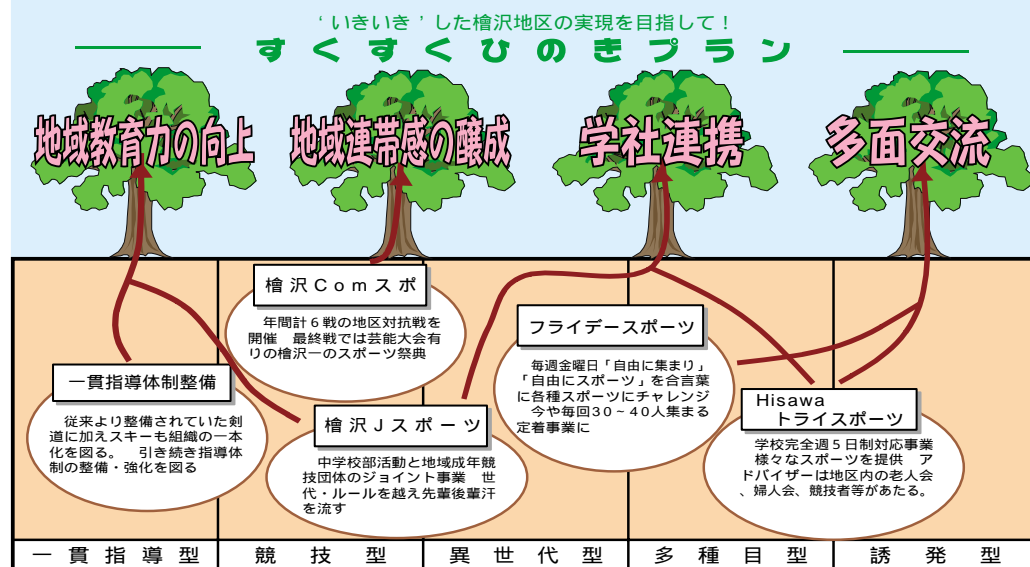
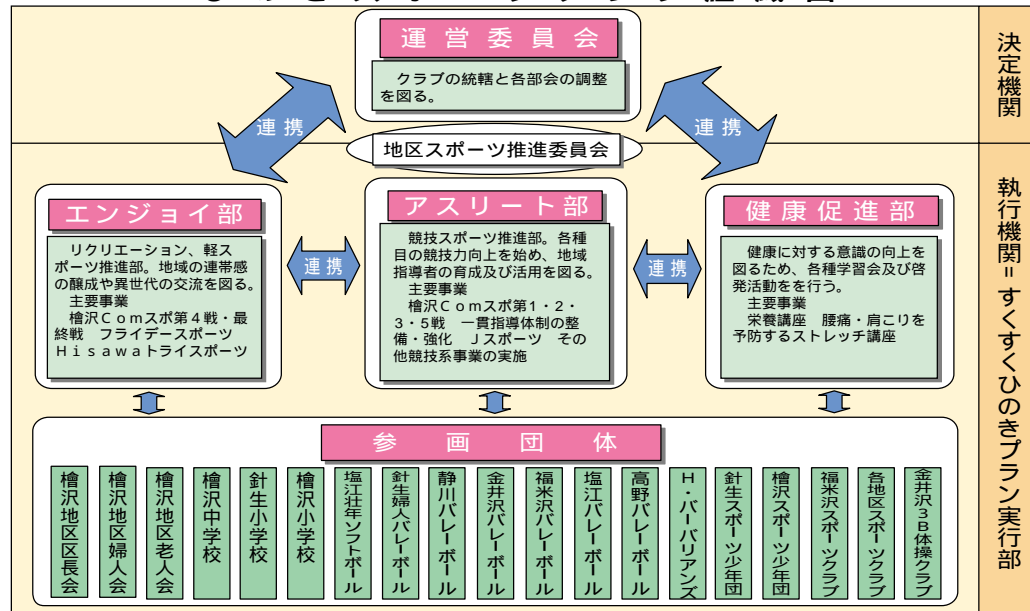
ひのきスポーツクラブ (田島町)

[協働作業でクラブづくり]

ひのきスポーツクラブは、「地域の活性化を担うクラブ」を合言葉に、他方からの助成や支援を受けず、地域の力を結集し今年5月に設立されたクラブです。設立までに2カ年の歳月を要しましたが、その間、多くの団体さらに地域の方々とクラブづくりを協働作業で行いました。

まず、クラブ理念である檜沢地区の活性化実現のために、子どもからお年寄りまでスポーツを取り組める環境の整備を初期の目標に掲げ、その目標を達成するため、スポーツ関係者のみならず、老人会や婦人会さらには区長会や学校を含め設立準備委員会を結成しクラブ設立計画の策定作業を行いました。これにより、多種多様な団体との連携が生まれ、幅広い活動を実施できるクラブの土壌ができあがりました。

ひのきスポーツクラブ組織図



[真の地域手づくりクラブを目指して]

本クラブは、他方から大きな財政支援を受けているわけではなく住民一人ひとりが納める区費の一部をクラブ運営費としていただいているため、会員は全地区民としております。限られた予算の中でより多くの地区民がクラブ事業に参加できるよう、各部はスポーツ人口や地域性等を十分考慮し知恵を出し合い事業を企画しております。また、参加の方法も単に事業への参加という形だけではなく、講師としてや運営スタッフ(審判等含む)としてなど、運営面もスタッフだけで行うのではなく、地域の方々に積極的に関わってもらうなど参加の場を多様に作りあげております。

当初から「地域の活性化」という大風呂敷を掲げてスタートしたひのきスポーツクラブ。その目標達成のためにはまだまだ時間を要しますが、檜沢地区手づくりのひのきスポーツクラブは10年、20年先を目指し、今後も取り組んでいきたい。



ソフトボールスポーツ少年団へゲートボールの指導をする老人会の方。地区内の様々な人材を活用し、幅広い活動を展開しております。 子どもからお年寄りまで多くの地区民(会員)が参加した檜沢Comスポーツウォークラリー大会 異世代の交流と競技力向上を目的に実施されているJスポーツ。中学生対成年野球チームの交流試合です。



(財)福島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長
(社)日本医師会<財>日本体育協会公認スポーツドクター

本宿 尚 先生



「スポーツと健康」ワンポイント講座

～スポーツと貧血について～

「貧血」とは血液中の赤血球が減り、それに含まれているヘモグロビンが減少した状態を指します。「ヘモグロビン」は身体の活動に絶対必要な酸素を運ぶ役割を担っています。このため貧血はスポーツにおいて重要な問題となっています。

スポーツマンの貧血の大部分は鉄欠乏性貧血で、男性3%、女性5～10%の頻度で出現します。この背景には成長期にある若い人に鉄の需要量が高いのに加えて発汗による鉄分の損失、足底の衝撃による赤血球の破壊、勿論女子の場合は生理現象も考えにいれておかなければなりません。

貧血状態が続くと最大酸素摂取量が落ちて持久力がなくなります。また、だるくなったり、息切れ、めまい、肩こり、食欲不振、無月経など様々な症状が出てくるのでスポーツ活動に対する影響は大きいといえます。

治療の原則はその原因を取り除くことですが、まず第一に食生活の改善です。栄養士に適切なアドバイスをもらいましょう。その上で鉄分を薬剤で補充することもあります。

それでも改善しない時は、医学的検査も必要です。思いがけない病気が隠れていることがありますから。

INFORMATION

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の育成、定着を支援します。
お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター(あづま総合体育館内)

http://www.sports-fukushima.or.jp/USC/usctop.html
E-mail azuma-kouiki@k2.dion.ne.jp

福島市佐原字神事場1番地
TEL 024-594-0015
FAX 024-594-0016

プロジェクトマネジャー 小杉 誠
チーフマネジャー 池田 昭宏

浜通り広域スポーツセンター(Jヴィレッジ内)

http://www.sports-fukushima.or.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama-kouiki@k4.dion.ne.jp

双葉郡楳葉町大字山田岡 字美シ森8番地
TEL 0240-26-0555
FAX 0240-26-0556

チーフマネジャー 比佐 功
マネジャー 星 香里



http://www.sports-fukushima.or.jp

E-mail info@sports-fukushima.or.jp
(財)福島県スポーツ振興基金助成事業
スポーツに関する情報を提供します。また、イベントや仲間づくりのための書き込みができます。

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ (財)スポーツ安全協会 福島県支部
☎024-521-1291

スポーツ医事・トレーニング無料相談

スポーツ障害による悩みや疑問に相談員が適切な指導助言をします。

お問い合わせ 最寄りの市町村体協または下記の県体協生涯スポーツ係まで。

(財)福島県体育協会 ☎024-521-7896

平成14年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～ 私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| (株)東邦銀行
福島県信用金庫協会
(株)ホシ製作所
福島民友新聞(株)
合資会社「東館」
信越半導体(株)白河工場
(株)ヨクベニマル
(株)古瀧
(株)ウエディングエルティ
新田産業(株)
東北建設(株)
庄司建設工業(株)
大和自動車交通(株)
福島トヨタ自動車(株)
福島ネオ工業(株)
東京電力(株)福島事務所
(株)山川印刷所
新日本ソール(株)製造部
日本化成(株)小名浜工場
錦興業(株)
常磐興産(株)
大塚製薬(株)郡山出張所
(株)サンテックス
滝谷建設工業(株)会津若松店
(株)ハートライン
福島ヤクルト販売(株)
(株)平和印刷所 | 福島県商工会連合会
福島県信用保証協会
福島県旅館ホテル環境衛生同業組合
東亜道路工業(株)福島営業所
福島テレビ(株)
佐藤工業(株)
(株)東北装美
(株)モリヨシ技研
呉羽環境(株)
(株)ソタヤ百貨店
(有)ひらい
富岡町体育協会
原町港湾運送(株)
谷口工業(株)
楢葉町体育協会
(株)アクト
(株)民報印刷
福浜工業(株)
クレハ建設(株)
(株)福島テレビエンタープライズ
(株)日進堂印刷所
陽光社印刷(株)
(株)海老名建設
アサヒ通信(株)
(株)ヤクルト本社福島工場
六陽印刷(株) | (株)クラロンスポーツ
(有)ホンダ印刷
キング印刷(株)
福島県議会スポーツ振興議員連盟
東信建設(株)
福島交通(株)
ゼビオ(株)
花春酒造(株)
関場建設(株)
(有)番場産業
(株)鈴木石油商会
福島県中央商工振興協同組合
福島日産自動車(株)
大熊町体育協会
池田食品工業(株)
東北電力(株)福島支店
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
(株)加地和組
堺化学工業(株)小名浜事業所
(株)渡辺組
堀江工業(株)
名木製帽店
(株)高橋建設
福島ガス(株)
朝日システム(株)
タカラ印刷(株) | 福島県信用組合協会
(有)吾妻印刷
(株)福島民報社
磐城通運(株)
福島ゴム(株)
橋本フォーミング工業(株)福島工場
(株)環境分析研究所
福島県ゴルフ連盟
石川建設工業(株)
福島県中小企業共済協同組合
東関クレテック(株)
伊藤冷機工業(株)
福島県建設業協会双葉支部
(株)福島中央テレビ
クリナップ(株)いわき事業所
山木工業(株)
呉羽化学工業(株)錦工場
常磐開発(株)
福島運送(株)
東邦垂鉚(株)小名浜製錬所
東急観光(株)福島支店
(株)松崎
江花建設(株)
(株)ダイユーエイト
寿建設(株)
(株)タナカ情報ビジネス福島営業所 |
|---|--|--|--|

個人の部(加入順)

- | | | | | | |
|---|---|--|---|---|--|
| 片平 俊夫
本宿 尚
吉田 政勝
青木 稔
三瓶 昌久
鈴木 清文
橋 和彦
福島県教育庁スポーツ健康課職員一同 | 下山田好宏
結城 勝夫
猪俣 昭洲
佐藤 昌志
内井 裕一
国川 耕司
上竹 毅
福島県教育庁スポーツ健康課職員一同 | 下山田恵一
佐藤 十次
林 幸夫
前田 長
岩田 徹
服部 啓吉
荒川 信郎
(財)福島県体育協会職員一同 | 河原 享
古市 孝雄
朽木 耕作
五十嵐源一郎
伏見 俊哉
佐藤 真一
古川 忠信 | 吉田 安男
内藤 繁
岩本 忠夫
矢内 哲郎
香野 喬一
吉田 伸一
永山 美智子 | 北村 孝男
斎藤 久男
豊田 博隆
本田 俊教
鈴木 浩一
穴戸 正幸 |
|---|---|--|---|---|--|

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、7年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間.....入会后5年間
- 協力金額.....毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
- 加入窓口.....財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

編集後記

8月に行われた第7回全国アウトドアスポーツフェアは各種団体の協力のもと成功裡に終えることができ、この場をお借りして感謝申し上げます。また、競技力の面では、夏季国体の本県選手団の活躍をお伝えしました。これからも、事務局員一同を引き締め、県民の皆様と感動を共有出来るよう頑張っていきたいと思います。

